

鴻島

ニュース

ごあいさつ

中央地区自治会長 長瀬直

新緑のまぶしい鮮やかな季節となりました。

会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、今年も第15回中央地区別荘自治会の総会において役員全員の再任となり、会長もお引受することとなりました。役員と会員の皆様のご支援、ご協力のもと、微力ながら自治会の運営に努めて参る所存です。よろしくお願ひ申し上げます。

昨年もまた、台風被害が発生し、亀ノ浦地区の道路が破損し

てしまいました。修理代に60万の費用がかかっています。

別荘地も19年経過して維持管理にも不安の増すこの頃だと思えます。会員の皆様と互助精神を共有しながら楽しい別荘ライフを創作していきたいと思っています。



第15号

- 2006 -

中央地区自治会
広報委員会

総会報告

第15回鴻島中央地区別荘自治会定時総会が連休中の5月3日に日生小鴻島分校講堂において開催されました。出席者及び委任状を頂いた方々で97名(70%)となり、総会は成立致しました。総会は会計担当の森さんより会計報告が行われた後、会計監査役の樽家さんより監査の報告があり、その後出席者よりの質疑があった後に出席者全員に承認されました。その後役員再任と新任が決まり、また今年度予算案が出席者全員の賛成で成立致しました。引き続き事務局の平田さんより鴻島の諸事情につい

会計報告 削除

ての連絡や説明がありました。

総会の後出席者全員による懇親会が今年も盛大に行われました。食事をしながら会員同士、一年ぶりの再会に意見、情報交換等があらちろこちらでにぎやかに行われ、あつという間に時間が過ぎ、また来年の再会を約束して閉会となりました。また来年も多数の参加者が(ちなみに今年は約60名)来られますよう期待しております。そしてまた自治会の運営にもお力添えよろしくお願ひ申し上げます。

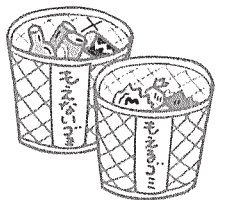
事務局よりお知らせ

鴻島ではゴミの分別収集が行われています。まだ一部の方が、指定通りに行っていない。自治会では、収集業者に補助金を月5万円支払って、指定通りになつていないゴミも回収してもらっています。皆様の廻りの方々にもルールを守るようにお互いに気を配って下さい。念のためゴミのルールを確認しておきます。

ゴミの収集日

ゴミの種類	収集日
もえるごみ	毎週火曜日
ペットボトル トレイ 紙類	毎月 第4木曜日
ビ もえないゴミ 粗大ゴミ	毎月 第3木曜日

- ・生ゴミ(可燃物)を備前市指定ゴミ袋(30枚1,350円)に入れて出す
- ・従来の黒かスーパリーの袋ではゴミは持っていけないので使用しないこと
- ・缶・ビン(不燃物)は透明な袋に入れること(スーパリーの袋も可)
- ・ペットボトルはラベル・金属フタ等を取り透明な袋に入れること
- ・以上別々にゴミ袋に入れてください
- ・ゴミ箱に大型ゴミや電気製品の投入は止めてください



★会員でない人に 申し上げます。

自治会活動は会員の負担で行われています。別荘地も19年たち道路の補修や溝掃除も会費でまかっています。持主が売買によって替わった場合や知らない会員外の人たちは何も負担していません。道路や溝や車の撤去や水道の破損も全て会員たちの負担なのです。折角手に入れた別荘も公共性は高いのです。皆様相應の負担をするのが社会のルールだと思えます。島を利用するにはぜひ、会員になって頂きたいと思えます。ご近所で持主が替わった方にはぜひ説明して下さい。

★車両放置は絶対にやめて下さい。

今季は、車両の撤去を致しません。だんだん増えて通行の邪魔になっています。撤去費用は自治会で負担しています。中央地区で約20軒の人が会員ではありません。皆様の隣近所で会員の人が車の使用をしている時、その後放置がないかよく注視して下さい。放置がわかれば自治会で注意したいと思います。

★火事の予防のお願い

鴻島では過去19年間に6回の火事が起こっています。特に強風が急に吹く事もあり、ゴミや落葉等のたき火は絶対しない様に気を付けて下さい。お互いに注意しましょう。

新聞だよ

同好会の案内

現在、左記の同好会が活動しています。

会員の皆さんの親睦目的につくられた会です。上手も下手もありません。楽しい一時を過ごしましょう。

皆さんの参加をお待ちしております。

○土いじりの会

備前焼が隣町なので窯元で教えて頂きながら、童心にかえり泥遊びはいかがでしょう。

0794-3510466

森田迄(会社)

○魚釣りの会

磯釣り、船釣りを楽しみながら、自慢話に花を咲かせてみませんか。

樽家迄

○ゴルフの会

上級者はもちろん、初心者の方も大歓迎です。年に2〜3回のコンペで練習の成果を競ってみませんか。

061645110578

長瀬迄(会社)

役員名簿(平成18年度)

- (会長) 長瀬 直
- (副会長) 樽家 紀之
- (会計) 森 啓充
- (監査) 寺浦 格 樽家 紀之
- 青野 正勝
- (事務局) 〇八六九八二七五六
- 平田 文夫
- (理事) (再任) 桑原 高己
- 松井 努 浅島 俊男 米田 稔
- 泰 脩 一 吉田 とし子 森田 孝
- 西野 健一
- (新任) 高岸 暘子 山本 顕
- (順不同)

まちの顔

日生港の朝はにぎやかだ。出船、入り船のエンジン音が響き、駐車場には、神戸やなにわナンバーの大型バスが次々に到着する。

水揚げされたばかりの魚介類を取りそろえた「五味の市」の五十のブースでは、威勢のいい掛け声が飛び交う。

「三尾で千円でええわ。安かろう」「雌はまだ卵をもっとらんから、雄の方がおいしいよ。おまけしようか。」川崎幸子さん（四八）が水槽の中を跳ね回っているクルマエビやワタリガニを勧める。

「大きなワタリガニ。飛びついて買いました」と、兵庫伊丹市安堂寺町、本井邦子さん（八〇）。生きのよさに満足そうな笑顔を見せる。



魚とふれ合うタッチングプールや大型水槽も観光客の注目を集める

「五味の市」オープンから1年

漁業と観光を結ぶ拠点施設



日生町漁協組合長 本田和士さん（69）
（備前市日生町日生）
魚介類の産卵や育成に重要なアマモ場の再生や、魚礁の設置による「海洋牧場」構想など、県、市と

もに栽培漁業の推進に取り組んでいるが、昔のようにどろんどろん魚が育つ海でなくなっている。時代に合った漁業にしたいため、都市住民が釣りを楽しんだり体験学習に活用する拠点施設が必要だ。地域振興にもつながる観光との連携を積極的に考えていきたい。

「くじら」地域振興にもつながる場所に……

浜売りが終わった荷さばき場「五味の市」は四十年近い歴史がある。魚が好きな地元住民の晩ご飯のおかずになるようにと、夕方に立ち並んでいた「浜売りが源流。名前の由来は「季節折々の五つの味」から来るといふ。

「地元で捕れた鮮度のいい魚を、地元で売ろう」と、日生町漁協が朝の競りが終わった荷さばき場を開放すると、観光客や一般の買い物客が大勢訪れ始めた。漁協本所の移転新築に合わせ、産直の拠点となる専用施設の構想が浮上した。

新施設は昨年二月二十七日にオープン。木造一部二階延べ千九百九十平方メートルの建物の外観は、瀬戸内海の波と風をイメージした。ウッドデッキから販売ブースを見渡し、日生諸島や香川小豆島沖に向けて行き交う船を眺めながら、ゆっ

くりくつろぐことができる。中央には大水槽があり、タイやヒラメが悠々と泳ぐ。タコやカニ、フグ、セイゴなどに直接、触れるタッチングプールもある。都市住民や子どもたちに魚介類に親しんでもらう狙いだ。

客足は順調 事業費は二億八千七百四十九万円。地域の提案に基づいて漁村のむらづくりを支援する「新漁村コミュニティ基盤整備事業」に認められ、三分の二は国・県の補助を受けたが、地元負

担は漁協が背負った。山口県下関市の施設を見学するなど準備を重ね、四年前から旅行業者にアプロイチし、案内パンフレットを送付した。その甲斐あつてか、オープン初日に約四万二千人が押し寄せ、その後も客足は順調に伸びている。

底引き網漁船に乗り組んで日生諸島の頭島に渡り、漁師体験することもできる。漁業と観光を結びつけるブルーツーリズムの推進へ、多彩なメニューづくりが進む。

捕れたて魚介類即売



捕れたての地元の新鮮な魚介類が並び五味の市のブース

場所 JR赤穂線日生駅から南西へ徒歩約20分。
営業時間 午前9時～午後5時 ※完売すると終了します。 火曜日定休（祝日の場合は翌日）
■五味の市 ☎0869-72-3655
■日生町漁協 ☎0869-72-1181

まほろばウォーク 2006

平成18年6月18日(日) ●募集定員(先着順):800人各班200名

参加者募集!! 日生諸島のみならず再発見!! 古代の郷を目指して健康ウォーク!!

●1班(受付時間8:00) [約8kmコース]	●集合場所/日生町漁業協同組合 五味の市前港公園 (五味の市駐車場をご利用ください。)
●2班(受付時間8:50) 頭島→頭島大橋→古代体験の郷「まほろば」	●開催日/平成18年6月18日(日) 開会式8:30
●3班(受付時間 9:20) [約3.5kmコース]	
●4班(受付時間10:00) 鹿久船島(千軒棧橋)→古代体験の郷「まほろば」	

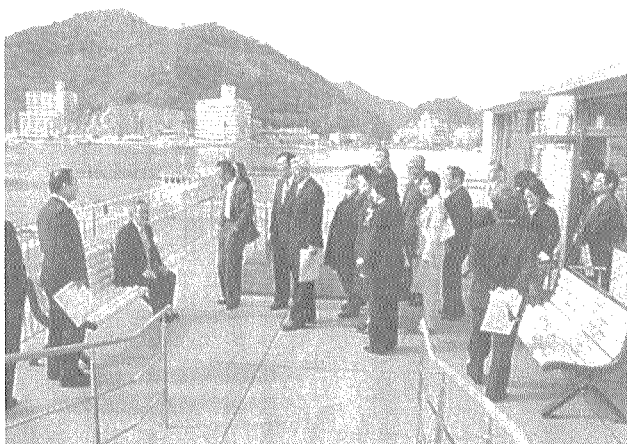
【応募方法】 締切り日6/2日(金)消印有効 ※当日参加は一切お受けできませんのでご了承下さい。 往復はがき裏面に代表者氏名(性別/年齢)・住所・電話番号・同伴者氏名(性別/年齢)・人数・希望コース・交通手段を記入して下記まで郵送下さい。

【参加料金】 高校生以上1,200円/中学生以下500円/3歳以下は無料

問合せ先/備前市商工観光課 TEL:0869-64-1832 備前市日生総合支所産業課 TEL:0869-72-1101

海を望む療養病床

備前市立日生病院で落成式



海を望みながらリハビリに取り組める新しい備前市立日生病院のテラス

老朽化に伴い、備前市日生町寒河に新築移転する市立日生病院が完成し、十四日、中日生港を望む新病棟で落成式が開かれた。三月一日に開業する。関係者約百二十人が出席。西岡憲康市長が「医師団、職員一丸となり、医療を通じて地域福祉の向上に役立つよう努力します」とあいさつ。テープカットして完成を祝った。新病院は鉄筋コンクリート四階建て延べ六千六百二十平方メートル。一九六五年に診療を始めた現病院(三千五百三十七平方メートル)の倍近い広さ。同市日生町日生の現在地から約一キロ東の県有地を取得し、建設した。

九十二床のうち半分以上の五十二床は、急性期を脱した患者が比較的長期にわたって滞在する「療養病床」の認定を受けた。談話室兼食堂を備え、二階のリハビリ室からテラスに出て、瀬戸内海の潮風を浴びながら屋外で機能回復訓練に取り組むことができる。

オープンMRI(磁気共鳴画像装置)などの最新医療機器も導入した。事業費は約二十三億四千九百万円。